

大東亜戦勝終結 70 年英霊顕彰東海五県神社庁講演会

東海五県神社庁（三重県当番）では、7月6日熱田神宮会館にて大東亜戦勝終結 70 年英霊顕彰東海五県神社庁講演会を東海五県の神社関係者を対象として開催した。

冒頭に熱田神宮（小串和夫宮司）を正式参拝した後、当番県神社石上紀男庁長が挨拶され、我が国の道義をあるべき姿に戻していくためにも靖国神社や護国神社に参拝を怠るべきではなく、これからも英霊に対する感謝とその心の涵養が必要であると述べられた。続いて神社本庁田中恆清総長が挨拶され、本庁では終戦 70 年にあたり靖国神社と護国神社を参拝することを勧奨しており、感謝の誠と顕彰の誠を本日の研修会をスタートとして我が国の国柄について学んで欲しいと述べられた。

講演会では、國學院大学名誉教授大原康夫先生が「終戦 70 年—靖国神社への想い」と題して講演され、靖国神社の創建と祭祀の本義について述べられた後、終戦と占領下の変革から占領終結後の靖国神社の様相、首相の靖国神社参拝についてと今後に残された課題など、細部にわたって分かり易く話された。この後バスに乘車し、愛知県護国神社（高羽伸浩宮司）にて正式参拝を行った後解散となった。

